

～～第8439回～～

金剛山～葛城山

～H30. 5. 19-20～

小雨が降る中、藤枝駅を5:00出発。北支部3名と藤枝8名は、天気回復を願いつつ一路奈良を目指す。今回は金剛から葛城を縦走予定であったが、都合により葛城山往復にスケジュール変更した。懸念された高速での渋滞もなく、10:00には葛城山登山口ロープウェイ駅に到着。今年の異常気候のせいで、一目一万本と言われるツツジの季節は既に終わり、例年なら1～2時間待ちのロープウェイも即乗車出来、1020には山頂駅に到着。山頂駅から山頂まではなだらかな丘という感じ。雨は止んだものの若干風が強く寒い。山頂からは奈良盆地、その先には大阪市の高層ビル群、さらには大阪湾から淡路島までが曇り空にかすんで見えた。正に絶景！頂上で記念写真を撮り、葛城高原ロッジ脇の展望ベランダにて昼食。ここからは、大和三山も眺められ、その展望も又秀逸だった。その後、ロープウェイで下山、宿舎の民宿までの道すがら、亀石、橘寺、川原寺、高松塚壁画館、石舞台古墳等を巡り17:00に民宿到着。

2日目は民宿8:00出発で8:30談山神社の開門を待ち入山。中大兄皇子(天智天皇)と中臣鎌足(藤原鎌足)が蘇我入鹿暗殺の謀議を練った神社であるが、多武峰山中に立地した重文の13重の塔は必見の価値あり。その他、重文の社殿が立ち並び、そのきらびやかさに、関西の日光と言われているのも納得させられる。その後、大神神社に移動。取り敢えず昼食は名物の三輪そうめんを予約し、神社本殿や狭井神社、檜原神社を参拝し、そうめんと柿の葉寿司の昼食を摂った。時刻はちょうど12:00。予定より早めに進行中。古代の幹線道路である山の辺の道辺りは、大小の古墳が数多くあり、西の邪馬台国説の地域である。そこには、卑弥呼の墓とも言われる大規模な古墳や、古代の天皇の墓があり、京都とは又違った日本国草創期の歴史のダイナミズムが感じられる。そして、15:00には3時間余の歴史散策を終え、大和路にさよならをした。帰途も順調で、19:30に藤枝に到着した。

コースタイム:(1日目)藤枝駅前500＝葛城山ロープウェイ登山口駅1000＝葛城山頂上駅1120…展望ベランダ1150-1210(昼食)…ロープウェイ駅1230＝ロープウェイ登山口駅1250…明日香周遊＝民宿1700

(2日目)民宿800＝談山神社830-930＝大神神社1000-1130…昼食1130-1200…山の辺の道周遊1500＝藤枝1930

記録:藤枝支部 晴れ男